

自衛隊が制作した
「進撃の巨人」

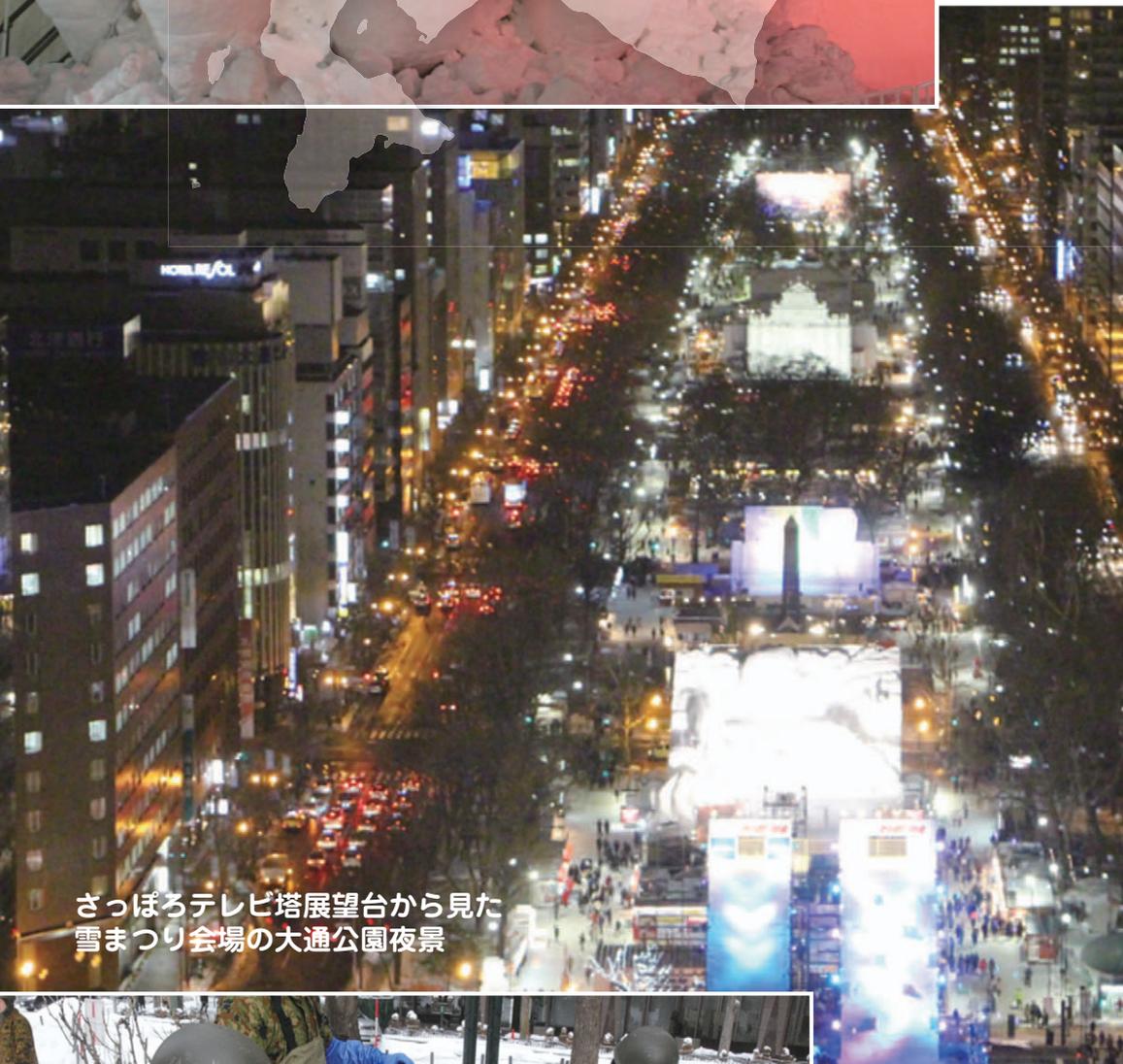
防衛

北海道

Bouei Hokkaido
February 2016
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense

Vol.44

北海道



さっぽろテレビ塔展望台から見た
雪まつり会場の大通公園夜景



さっぽろテレビ塔



雪の接着を高めるため、水槽に雪を入れ、
湿った雪をつくる隊員

編集・発行 防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
Tel.011-272-7579
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



陸上自衛隊による

「第67回さっぽろ雪まつり」の

陸上自衛隊第11旅団は、道民の自衛隊に対する理解と信頼を深めるために、さっぽろ雪まつり協力団を編成し、大雪像制作等の協力を行いました。

第11旅団は1月7日（木）、会場となる大通公園にて隊員約340人の編成式を行い、平成28年1月7日（木）から2月13日（土）の間、さっぽろ雪まつり大通会場に大雪像2基（大通4丁目の「進撃の巨人」、大通7丁目の「聖ポール天主堂跡」）の制作・維持・補修・雪像制作に必要な雪の輸送及び雪まつり会場での音楽演奏を実施しました。



協定書調印式

握手を交わす札幌市長秋元克広氏（左）と第11旅団長甲斐芳樹陸将補（右）



雪まつり協力団編成完結式



雪像制作



式典で演奏する音楽隊



札幌観光大使フレンズからの花束贈呈

クローズアップ 女子が

協力隊員の声

札幌市大通公園にて2月5日（金）から11日（木）までの一週間、第67回さっぽろ雪まつりが開催され、北部方面隊が2基の雪像の制作協力を行いました。

雪像の制作に直接携わった北海道出身の女性隊員の方々にお話を伺いました。

陸士長
狩野 彩加

北部方面施設隊 第303ダンプ
車両中隊／札幌龍谷学園高校

札幌出身ということもあり、子供の頃よく見に来ていた雪まつりに、まさか自分がかかわれると思ってもいなかったの、とても誇りに思っています。

小隊長ドライバーとして、安全運転を心がけ、大雪像の制作に貢献できたと思います。



3等陸曹
鶴田 舞

北部方面後方支援隊 第101通
信直接支援隊／旭川南高等学校

私は今回で3度目の雪像制作への参加となりました。

市民の皆さんに夢と感動を与えられるような雪像を制作しようという目標のもと、3度目の参加ということもあり1・2回目とは違い制作における手順や流れなどを理解し臨む事ができました。

また細かい作業が得意ということもあり、初めてレリーフ（浮き彫り彫刻）をさせてもらうことができ、とてもよい経験となりました。

今年は雪が少なく、暖かい日が続く、不安もありましたが素晴らしい雪像を制作する事ができ、よかったです。



1等陸士
我妻美友季

北部方面通信群 第101指揮所通信大隊
指揮所通信中隊／小樽桜陽高等学校

小さい頃からさっぽろ雪まつりの雪像を見てきました。今回それを作る立場となり、とても誇りに思います。

初めての参加ですが、伝統あるさっぽろ雪まつりで、私たちが携わった雪像を見た皆様に喜んで頂けたら嬉しいです。



米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転

米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）が、平成28年1月12日（火）から22日（金）までの間、航空自衛隊千歳基地で実施されました。この米軍再編に係る訓練移転は、日米間の相互運用性の向上を図るとともに、嘉手納を始めとする三沢及び岩国の各米軍飛行場における訓練活動に伴う地元負担（航空機騒音）を軽減することを目的に実施されています。

岩国飛行場から千歳基地へ飛来したFA-18（1月12日）



着陸するFA-18戦闘機



エプロンに駐機されたFA-18戦闘機

千歳基地で行われた米軍飛行隊長へのインタビュー（1月12日）



第12海兵航空群
シヤンド中佐

訓練移転の実施に先立ち、1月12日（火）、訓練への理解を深めていただくため、千歳市、苫小牧市をはじめとする地元自治体関係者及び報道関係者に対し、米軍からインタビュー及びブリーフィングを実施しました。

インタビューの中で第12海兵航空群のシヤンド中佐は、「訓練を行うにあたって、住民の皆さんとより良い関係を築くことが非常に重要だと考えており、この訓練が沖縄の負担軽減に繋がっていると考えている。」と述べました。

千歳基地で行われた北海道防衛局の説明会（1月12日）



説明をする北海道防衛局
早坂茂紀 現地連絡本部長



現地説明会会場

1月12日（火）、北海道防衛局は千歳市、苫小牧市をはじめとする地元自治体関係者及び報道関係者に対し、訓練移転の概要等について現地説明会を実施しました。

訓練で離陸するFA-18戦闘機



日米飛行隊長による記者会見

千歳基地で行われた日米飛行隊長へのインタビュー（1月22日）

1月22日（金）、報道関係者に対し、日米飛行隊長による共同記者会見を実施しました。記者会見の中で、第12海兵航空群飛行隊のガイヤー少佐は、今回の訓練の3つの成果として、「航空自衛隊との相互運用性の向上、部隊の即応性の向上・強化、沖縄の負担の軽減につながっていると思う。」と述べました。

また、航空自衛隊の第2航空団第201飛行隊長 濱谷2佐は、「技能向上を図ることができ、お互いの戦闘要領、戦術の理解を深めることができた」と述べました。

訓練期間中（1月12日から22日）の騒音測定の実施

当局は、千歳基地周辺の常時測定局のほか、訓練実施期間中は、さらに千歳市内と苫小牧市内に臨時測定局を設け、騒音測定を実施し、測定結果を関係自治体及び報道機関にお知らせしました。

【訓練移転時の騒音測定について】

訓練移転時の騒音測定に当たっては、各測定地点で騒音測定機器の測定準備（同機器の動作確認と各種設定の確認）を行います。その後、現地連絡本部からの指示を受け訓練移転の航空機騒音の測定を開始します。

なお、騒音測定に当たっては、測定員が目視確認により航空機の離着陸時の最大騒音レベルや騒音発生時刻等を記録します。

騒音測定データは、測定記録表に集計し、他の測定箇所のデータとの検証を何度も行い測定作業が終了します。



米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会

北海道防衛局、北海道、千歳市及び苫小牧市では、訓練計画の情報提供に関すること等について協議するため、「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」を設置・開催し、訓練開始前の平成27年12月22日（火）及び平成28年1月5日（火）に訓練計画等の説明等を実施するとともに、訓練終了後の2月5日（金）に訓練の実施概要及び訓練時の騒音状況等について報告しました。



防衛施設と周辺地域との調和を図るために

～道路改修事業の紹介～

防衛施設周辺の道路においては、自衛隊等の車両の通行により、道路の路面や路床などが損傷したり、一般車両とのすれ違いに支障を来したり、歩行者に危険を及ぼしたりすることがあります。

道路改修事業は、こうした障害を防止又は緩和するために地方公共団体が必要な工事を実施するとき、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、その工事に要する費用の全部又は一部を補助するものです。今号では、平成27年度に実施した別海町及び長沼町の道路改修事業をご紹介します。

当局では、今後とも事業を進めることで、自衛隊等の車両の通行により生じる障害の防止又は緩和を図ってまいります。

(道路改修事業の概要については、特別編集号「防衛北海道(平成26年3月発行)」に掲載しています。ホームページより是非御覧下さい)。※北海道防衛局ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



障害の状況 及び 事業内容

改修前 **改修後**

路面の損傷：通行車両により、路面あるいは路床が損傷し、通常の維持が困難な場合、舗装の補修を実施。

改修前 **改修後**

歩行者の危険：通行車両により、歩行者あるいは自転車走行が危険な場合、歩道等を設置。

改修前 **改修後**

離合困難：通行車両により、道路交通に障害が認められる場合、車道の拡幅、改良及び舗装を実施。

改修前 **改修後**

砂塵の飛散：通行車両による砂塵等の飛散により、沿道の建物、田畑等に障害が認められる場合、改良及び舗装を実施。

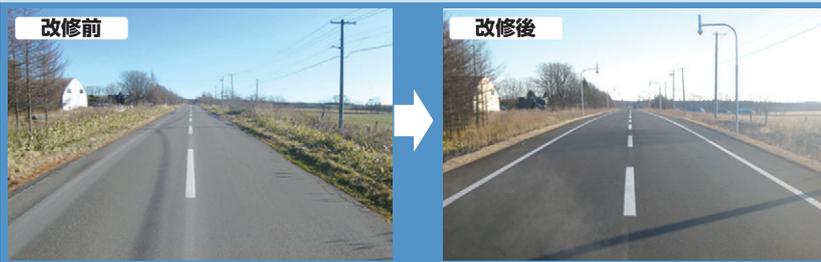
改修前 **改修後**

緊急活動：自衛隊等の飛行場等周辺において、航空機の事故や火災等に際し緊急避難・消防救難活動の円滑化を図る必要がある場合、車道の拡幅等を実施。

ねむろちゅうぶさんごうしゅようかんせん

根室中部3号主要幹線の改修事業(別海町)

根室中部3号主要幹線は、矢臼別演習場への経路として自衛隊等の大型車両が頻繁に通行しています。このため、平成24年度から本路線の拡幅や舗装工事を計画的に実施しています。



町の担当者の声

路面の損傷が改善され車道も拡幅されたことから、安全な通行が確保されました。引き続き本路線の整備を進め、生活環境の向上に努めたいと思います。

ふしこきたせん

富士戸北線の改修事業(長沼町)

富士戸北線は、未舗装道路の上、幅員が狭く車両のすれ違いが困難な状況でした。このため、平成24年度から平成27年度にかけて本路線を拡幅し舗装工事を実施しました。



町の担当者の声

舗装することで、砂塵による被害の防止やスムーズな通行が可能となりました。また、車道の拡幅により車両のすれ違いが容易となり、安全な交通に寄与することができました。

北海道防衛局に勤務して

渡邊事務官(企画部周辺環境整備課)

昨年10月に入省してから4ヶ月がたちました。触れるものすべてが新しく、また知識も圧倒的に足りていないため、右も左も・・・という毎日です。

局にいますと実に様々な仕事、人、ご飯に出会います。合同庁舎の地下にある食堂では600円もしないでボリュームのあるご飯が食べられますし、近くのレストランのランチに連れて行ってもらう事もあります。

厳しい食トシの成果もあり入省から8kgも体重が増えてしまい、現在ダイエット中です。

今後は仕事の知識は増やしつつ体重を減らしていきたいと思います。



年頭訓練

第7師団
第71戦車連隊

第7師団隷下の第71戦車連隊は、平成28年1月7日(木)、北海道大演習場(千歳地区)において年頭訓練を行いました。

訓練には連隊の他、第7後方支援連隊(第2整備大隊第1戦車直接支援中隊)も参加し、人員約200名、90式戦車をはじめとする車両33両が参加しました。



雪原を行進する90式戦車



行進準備が整った戦車

各中隊長車の横隊行進の状況



各中隊による行進の状況

道北地域の山岳救助

陸上自衛隊第2師団

陸上自衛隊第2師団は、道北地域（上川、留萌、空知、オホーツク、宗谷振興局管内）の山岳救助を担当し、各振興局の要請に基づき山岳救助を実施しています。平均して、1年間に3～4回遭難者の救助に出動しています。



平成27年12月31日旭岳雪崩搜索救難
(ゾンデ棒を雪に刺して、遭難者を捜す隊員)



平成27年10月4日旭岳搜索救難
(搜索コール:声をだして、遭難者に呼びかけを行う)



平成27年12月31日旭岳雪崩搜索救難
(雪を取り除きながら搜索)



平成19年12月4日黒岳遭難者救出



黒岳山頂

平成27年12月21日
黒岳搜索救難
(搜索中のOHヘリコプター)

部隊紹介

空自八雲分屯基地の任務と地域交流

八雲町 渡島半島北部に位置し、東は太平洋、西は日本海の2つの海を有する日本で唯一の町であり、明治11年に第17代尾張藩主 徳川慶勝侯による開拓の歴史に始まり、町名は古事記の「八雲立つ出雲八重垣妻籠みに八重垣作るその八重垣を」に由来しています。



厳寒の冬季機動展開訓練(第23高射隊)



米国での実射訓練クルーと発射機(第20高射隊)

部隊概要 昭和18年の陸軍飛行場建設に始まり、米軍管理を経て、昭和33年に航空自衛隊で唯一、滑走路を保有する分屯基地となりました。その後、幾度かの改編を経て、現在は、第20高射隊及び第23高射隊の編制となっており、我が国に侵攻する航空機又は弾道ミサイルに対処しています。



八雲神社例大祭支援



地域交流 八雲神社例大祭及び八雲山車行列等のイベントに参加するなど地域の盛り上げに一役買っております。また、昨年3月には、当分屯基地が創作したオリジナルメニュー「八雲スパゲティ」の pastaソースが市販化され、好評を得ております。pastaソースは町内に所在する情報交流物産館「丘の駅」等にて取り扱っておりますので、八雲へお越しの際は是非ご賞味ください。

市販化された「八雲スパゲティ」pastaソース

平成28年度 自衛官等募集

募集種目		応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
予備自衛官補	一般	採用後、一般は3年以内に50日間、技能は2年以内に10日間の教育訓練を終了後陸上予備自衛官として任用され、2等陸士(一般)又は保有する技能等に対応した階級(技能)を付与されます。	1月8日(金) ～ 4月8日(金)	4月15日(金) ～ 4月19日(火) ※いずれか1日が指定されます。	5月20日(金)
	技能	以降は年間5日間の訓練を受けるほか、必要があるときは自衛官となって各種活動に従事します。			
一般幹部候補生	大卒程度試験	自衛隊組織の骨幹である幹部自衛官(パイロットを含む。)として必要な知識と技能を修得するため幹部候補生学校で教育を受けます。卒業後は初級幹部として部隊を指揮しながら、さらなる知識と技能の修得に務め、「平和を仕事にする。」責任を担っていきます。	3月1日(火) ～ 5月6日(金)	1次 5月14日(土) 5月15日(日)(飛行要員)	1次 6月3日(金)
	院卒者試験	修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の者		2次 6月14日(火) ～17日(金)	2次 海: 飛行要員 7月4日(月) 空: 飛行要員 7月8日(水)
		修士課程修了者等(見込含)で、20歳以上28歳未満の者		3次(飛行要員) 海上 7月11日(月)～ 7月15日(金) 航空 7月16日(土)～ 8月4日(木)	最終 陸・海: 8月5日(水) 空: 9月2日(水)



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060



函館地方協力本部
0138(53)6241



帯広地方協力本部
0155(23)2485

◆募集コールセンター



自衛官募集携帯サイト

追悼

第11特科隊副隊長 林 茂和 2佐 (防大36期) の急逝に寄せて

昨年11～12月にかけて矢臼別演習場で実施された米海兵隊による実弾射撃訓練において困難な気象条件の下、現地協力隊長として円滑な訓練遂行に尽力され、また1月より始まったさっぽろ雪まつりの雪像制作支援において陣頭に立って奔走された同氏は、去る2月2日くも膜下出血により逝去されました。4日の告別式には日本側関係者はもとより沖縄から海兵隊大隊長であるニール・オーエンズ中佐も参列され、深い哀悼の意を述べられました。ここに北海道防衛局を代表して、誠実な人柄に対する敬意とともに残されたご家族の皆様に対して心よりお悔やみ申し上げます。



北海道防衛局長 山岡 博幸